



災害に備えて（過去の災害時に迂回路として機能した林道・三淀ケ入線の草刈作業を実施）

謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆様には日頃より自治組織活動にご理解、ご協力を賜り御礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

巳年は新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年といわれ、脱皮をする蛇のイメージが「復活と再生」を意味します。植物に種がでかき始める時期、次の生命が誕生する時期など新しいことが始まる年になるといわれています。本年がさらに良い年でありますようにお祈り申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、一月に石川県能登地方を震源とする大きな地震により甚大な被害が発生しました。まだ復旧、復興が進まない中、九月には線状降水帯が発生し、豪雨により復旧に大きな影響を与えました。また、全国各地で大雨による災害が発生しました。八月に宮崎県日向灘を震源とする地震が発生し、「南海トラフ地震臨時情報」が初めて発表されました。

災害はいつ、どこで起こるか予測できません。災害時にどんな行動をとればよいか、どんなものを備えておけばよいか日頃から考えておく必要があります。

自分の命は自分で守るという「自助」の意識はもとより「自主防災組織」による近所での助け合い「共助」の取り組みが大切です。

「つきだて情報宅配便」に各行政区の自主防災組織活動が、その都度紹介されています。地域住民にとって益々重要な役割を担う自主防災会の活動にご期待申し上げます。

令和六年度の各地域自治組織活動は、皆様のご協力によりまして順調に進めてきました。人口減少や高齢化が進む中、防災・地域福祉の向上、地域行事の充実など、地域自治組織の果たす役割の重要性を認識し、よりよい地域づくりに努めていきたいと思っております。

今後とも皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

この度、各地域の活動内容を掲載した「自治連協だより第十一号」を発行いたしましたので、ご一読いただければ幸いです。

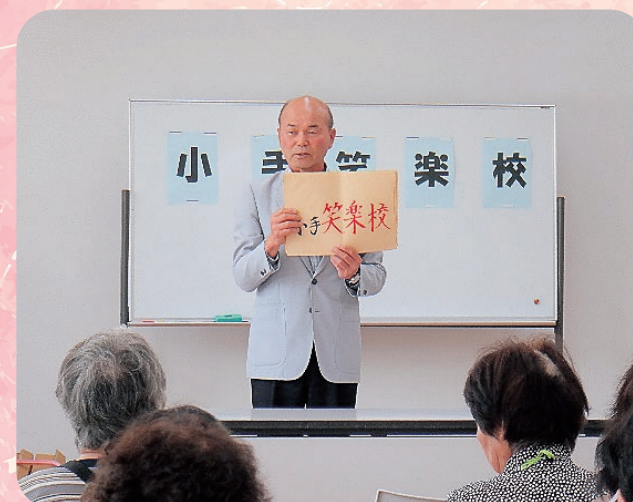
自治連協だより 発行に寄せて

会長 齋藤 昭二

出前講座「小手笑楽校」が 開設されました。



旧小手小学校が「小手の里 きてみ～な」として生まれ変わり、糠田地区の拠点施設としての機能も併せ持って整備されたことから、地区住民の交流の場となるよう、5月から月1回のペースで「小手笑楽校」という名の出前講座を開設しました。



5月30日「開講式」



6月27日「食品ロスをなくそう」



8月29日「消費者トラブル・なりすまし詐欺」



9月26日「塩分の取り方について」

6月16日 「小手の里・きてみ〜な」周辺の環境整備のため。糠田地域振興会役員15名で草刈り作業を行いました。

早朝からの作業、お疲れさまでした。



糠田

「元気が〜い!?!月舘」開催



高齢化率が年々高まる月舘町。高齢者がいつまでも元気で安心して今の暮らしが続けられるよう、「介護予防」をテーマに交流会を開催し、地域内の交流の活性化を図るとともに、地域全体で「つながり・支え合う」意識の共有を目指して事業を実施しました。

当日は、ふくしまスポーツプロモーション講師の指導で、「楽しく体を動かそう 身体と頭のエクササイズ」を体験した後、JAゆりの会の皆さんによる手づくりのお弁当と豚汁が振る舞われました。

「ひさしぶりだったねえ」「げんきだったかい?」と、元気な声が聞けた楽しい交流会になりました。



10月13日 伊達市指定文化財・小志貴神社牡丹獅子舞が秋の例大祭に奉納されました。獅子児と軍配団扇持ち、道六とお医者様、花傘かぶりが笛・太鼓の囃子により、舞が優雅に進められました。



上手渡

10月13日 下手渡地区交流館でふれあい教室を開催しました。伝統食文化の継承をテーマに「手打ちうどん作り」にチャレンジ、30名の参加者で楽しくいただきました。



下手渡



9月28日 「土地を知り、もっと好きになり、地域の宝物を誇りにしよう」をテーマに「地元学」を実施しました。背後には、愛宕山から女神山までの七ツ森が見えます。



月舘

11月23日 地区内の道路沿いのゴミひろいを実施しました。当日は、72名の参加により、軽トラック一台分の空き缶や可燃ゴミが収集され、綺麗になった環境で新年を迎えられます。



布川

9月27日 「地域づくり視察研修」を開催しました。会員41名の参加があり、宮城県登米市のみやぎの明治村、さんさん商店街と震災復興祈念公園を視察してきました。



御代田